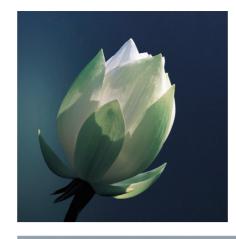
HE PORTRAITS OF















新作能『空海』連動企画



神々しいといえばいいか、赤い光を放つ紅の蓮の花である。緑の闇の中から一本の茎が伸びあがり、その先端で蓮の花がいま開こうとしている。茎はしなやかに撓んで花の重みに耐えている。

目を疑うのは花冠のまわりに、さながら花の息のように香りのように赤い光が漂っていることである。・・・写真は光と化学物質による幻術である。ときには人間の肉眼で見えないものを写し出す。ここでは花が夜明けの薄明に隠れて密かに行なっていた秘儀を冷徹なレンズが捉えてしまった。

長谷川 櫂(俳人・日本経済新聞掲載)

蓮花は凝視に値する質と量を持っている。あなたの精神と自然との回路を 見つけ出すことができる写真を、鈴木薫は永い年月をかけて撮り続けた。 時空を超えた「蓮の肖像」の存在感を感じていただきたい。

浅葉克己 (アート・ディレクター 「蓮の肖像」帯)

蓮華化生という言葉がある。浄土に往生することを、極楽の蓮の台に生じることに譬えたものである。仏教の 象徴ともいえる蓮の花の咲く池は、仏教世界=阿弥陀浄土そのものだという。それはさながら、法隆寺にある 橘夫人念持仏の蓮池のような光景なのだろうか。

――幽明に浮かぶ白い蓮。和紙にプリントした不思議にリアルな質感の鈴木薫の蓮の写真にも、仏さまの宿る姿がみえるようだ。誰にでも等しく訪れる死を、私たちは日常からできるだけ遠ざけようとする。彼女の白い蓮をみつめながら、私は死をおもい、そしてあざやかな生を思う。 塚田晴可(ギャラリー無境・小さな蕾掲載)

湯上りの天女のような……

蓮の花というのは、何度見ても、何処をとっても飽きない美しさである。 つぼみも花も、花托も実も、葉も露もすべてが美しい。

そして、その匂いは、深遠に不思議に、上品に色っぽい。つまり、湯上りの天女のようなのだった。 鈴木薫さんの撮られた蓮の写真は、この陶然とする蓮の匂いを写している。

南 伸坊(イラストレーター、エッセイスト 朝日新聞掲載)

「艶っぽいな、あでやかだな、まるで芸者衆を見ているよう」

・・・・その艶っぽさは、しなやかさでもあり・・・・つぼみには、手も触れさせない強さがあり、大振りに開いた花は、人々を抱きかかえてくれるような広やかな豊かさを感じさせます。

古来人々は蓮のうてなに行くために、経文をとなえてきました。

しかしこの写真の蓮花を見ているだけですでに、この浮世のどろどろの世界から脱却できるような、 崇高な宗教観、清涼なる仏心を感じさせてくれます。

野村幻雪(能役者・人間国宝 最初の個展に寄せて)

新作能『空海』連動企画

「蓮の肖像展」_{写真家 鈴木薫}

- ○2024.9.7(土)~16(月・祝) 9:00~17:00 ○入場無料
- ○高野山観光情報センター

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山357 Tel.0736-56-2780



お問合せ 一般社団法人 アトリエ花習 Tel.090-9676-3798 鈴木 薫 k_lotus@sky.plala.or.jp 私が初めて蓮に出会ったのは故郷、鎌倉八幡宮の蓮池。アート・ディレクター村越 襄先生の個展のための撮影でした。望遠レンズの向こうに見えたのは美しく造形 的な蓮花の姿―。それから、二十年近い年月、その美しさに驚き、感動して撮ると いう連続でした。ただただ、子供のようにシャックーを押し続けてきました。

蓮は真夏に咲きます。昨年、蓮のつぼみの傍で深呼吸して、思いっきり蓮の香りを吸い込んでしまいました。鮮烈で不思議な香りです。強い生命力を感じました。 炎天下の撮影なのにそれほどの疲労感も感じないのは蓮の生命力に支えられているからでしょうか。その蓮の花の姿を残しておきたいと思いました。 鈴木薫

鈴木 薫 Suzuki Kaoru

女子美術短期大学造形科卒業。出版社勤務を経てフリーランスに。

村越襄『蓮花幻想』展の写真撮影がきっかけとなり、蓮花の撮影を始める。

がによっている。 他にライフワークとして親世流能役者、故野村幻雪師の舞台写真も撮影。能楽写真家協会会員。 【主な出版物】

【土は田成物】 「蓮花」鈴木薫写真集(ラトルズ刊)、「蓮の肖像」鈴木薫写真集(ラトルズ刊)、「野村幻雪写真集」など。 【キか展覧会】

★エな展見会』 村越 襄『蓮花幻想』展(六本木 アクシス・銀座 村越画廊)撮影

↑「越 表『連化幻想』展(ハネイ アクンス・級E 「蓮花」鈴木薫写真展(銀座 ギャラリー無境)

浅葉克己ディレクション「祈りの痕跡。展」に作品出展(六本木 21_21 DESIGN SIGHT) 「REALITY LAB 再生・再創造 J展に作品出展(六本木 21_21 DESIGN SIGHT)

| TICALITY LAB 存主 | 特別息]版に|| 中間山族(八年本 21_21 DESIGN SIGIT) | 茅ヶ崎市美術館 企画展「村越襄 祈りのデザイン: 蓮華幻相」同時開催「蓮の肖像」鈴木薫写真展

矛ヶ崎市美術館 企画展「村越裴 祈りのナサイン:運華幻相」同時開催「運の肖像」鈴木薫与具月 ギャラリー上田展『間』(デュッセルドルフ恵光日本文化センター)

能楽写真家協会作品展「幽玄の美」(ソニーイメージングギャラリー銀座) 「花の横顔 鈴木薫展」(銀座 Gallery UEDA) など。